豊かな地域療育を考える連絡会　　報告とお知らせ

第２０７回定例会を１２月２１日（木）に川崎市総合自治会館・大会議室１・２において実施しました。２２名の参加でした。全体会の後、今年度初めての地域部会を南北二つに分かれて行いました。

１．子どもの権利の日フォーラムについて

テーマ　障がいのある子どもたちの地域生活支援
～子どもの育ちに大切な支援を考える～
「語ろう！放課後のくらし」

１１月２３日（木・祝）に開催されました。

○ 当初このテーマで参加する人はいるのか？部内の研修でもいいのでは？ということで、パネラーも多く集めたのだが、参加締め切り間際に保護者の方の参加が増え、また他都市の放デイに勤める人が川崎の実情を聞きたいと参加されたりして、蓋を開けてみれば有意義な時間で、参加者とのやり取りの時間があまり取れなかったのが悔やまれた。

○ 講演してくれた吉原さんは全国放課後連から来てもらった。ユーモアを交えてパンチのある話をしてくださったので、その後質問がいくつも飛んだ。

パネラー報告はそれぞれの事業所の特徴を話してもらった。意見交換では保護者からの意見、質問が引き出せた。

○ 当日は司会を担当。今回保護者の基本的なところの悩みなどを発言時間が少ない中で話してもらった。参加の人々の考えがひらめいて将来のことに向けての意識づけが出来たのではないか。

パネラーと参加者の間で放課後のくらしについてのアドバイスも含め考え合う時間を持ちたかった。

２．事務局より

○ 第５次ノーマライゼーションプランについて

・中間見直しの年になる。７月に連絡会で団体ヒアリングを行った。コロナで一部の団体のみが対面でのヒアリングだった。連絡会もそのひとつ。コメントの多さによって案外プランに影響。自身の立場でどうしてほしいか伝えることが大事。

卒後の対策についても毎年２カ所ずつ整備するなどの内容もあった。

市民説明会は高齢者の長寿プランと合同の説明になるのでその点はご承知置きいただきたい。

医ケアに対する支援については切実で新しく取り上げている。

この内容に対してのパブコメを募集している。公式サイトから案をみてコメントをしてほしい。保護者はほとんど知らないが、５年先、１０年先のサービス・制度の基になる重要なプラン。

・たとえば地域包括の部分のあんしんサポートについて強化してほしいと声をあげているが載ってはいない。再度声を上げたいと思う。このプラン案は各区役所に冊子として置いてある。印刷物をホチキス止めしただけの簡単な冊子。言えば必ずもらえる。

○ 医療的ケア児者等オープンネットワークフォーラム２０２４「医療的ケアの街・かわさき」

・医ケアのムック、1年3ヶ月後を目標に出すことになって社協からの助成金ももらえることになった。

本のためのアンケート、意見集約のため１月２８日（日）に中原支援学校の体育館でフォーラムを開催する。

・豊かな地域療育を考える連絡会は協賛を決めた。

３．情報交換

○ 「気がかりな子どものサポート」地域のみんなで支えるために

・発達に気がかりのある子どもの保育（発達支援）の手がかりを勉強する講座。全１０回

・１回3,000円　定員１５名。

会場は日中一時支援事業所おんぶ

○ 「川崎市障害児・者移動支援事業等従事者（サポーター）養成研修講座」

・主催　NPO法人わになろう会（川崎市補助事業）

・１月２１日（日）１３時１０分～１６時４０分

・会場　川崎市生涯学習プラザ２０１

○ 一般社団法人川崎市自閉症協会講演会「グレーゾーンの発達障害の方達への支援」

・２０２４年1月２７日（土）１０時～１２時

・川崎市総合自治会館　大会議室１・２・３

第２０８回　定例会　１月１８日（木）　９：３０～１１：４５

Zoomで実施　　◇全体会　　◇分野別部会

参加申込および問い合わせは、事務局０４４－４５５－７４６８　七川まで